

# RHYTHM

## 電波時計 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

### アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

#### ●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、枠や針などの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

#### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

お買い上げ販売店でアフターサービスが受けられないときは、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

製造  
発売元  
**リズム時計工業株式会社**  
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

#### お問い合わせ先

お客様相談室 **0120-557-005** (フリーダイヤル)

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

お買い上げ製品に関するお問い合わせの際は、製品の裏面または底面に表示されている製品番号(型番)をお伝えください。 例 4RY○○○

(Y1512)

### 安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

**図記号の説明** ①は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

②は、指示する行為を必ず守っていただくことを示しています。

**警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

① 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かない  
必ず守る  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

② 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

③ 電池が液漏れしたときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

●液漏れしたときは電池を取り外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

**注意** 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

④ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない  
さびの発生や故障の原因になります。

⑤ 分解や改造をしない  
故障の原因になります。

⑥ 落としたり、たいたたりして衝撃を与えない  
故障や破損の原因になります。

⑦ ぬれた手で触らない  
故障や誤作動の原因になります。

⑧ 下記のような場所では使わない  
禁止  
部材の変形、変色、劣化、性能の低下、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- 火気のそば。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生する所。
- 車中や船舶、工事現場など振動の激しい所。
- プールや温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など、多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接接触させると、色移りや付着、変質をすることがあります。

### 電波時計について

#### 電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

#### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

(http://jjy.nict.go.jp)

#### 標準電波の送信停止について

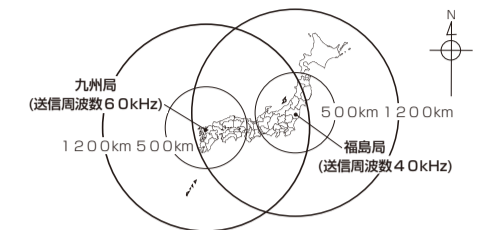
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

#### 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。電波受信機能をONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

#### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

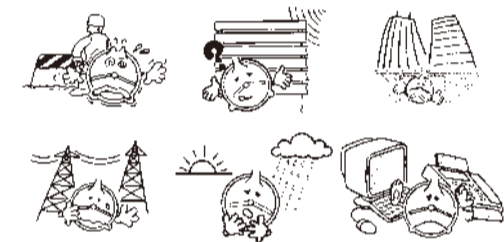


この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

### 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所。
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



### 電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

#### 電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは全部取り替える。
- 幼児の手の届かない所に置く。

#### 電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

#### 電池の寿命について

- 温度など使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

### 電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 電池を取り外してください。

### お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

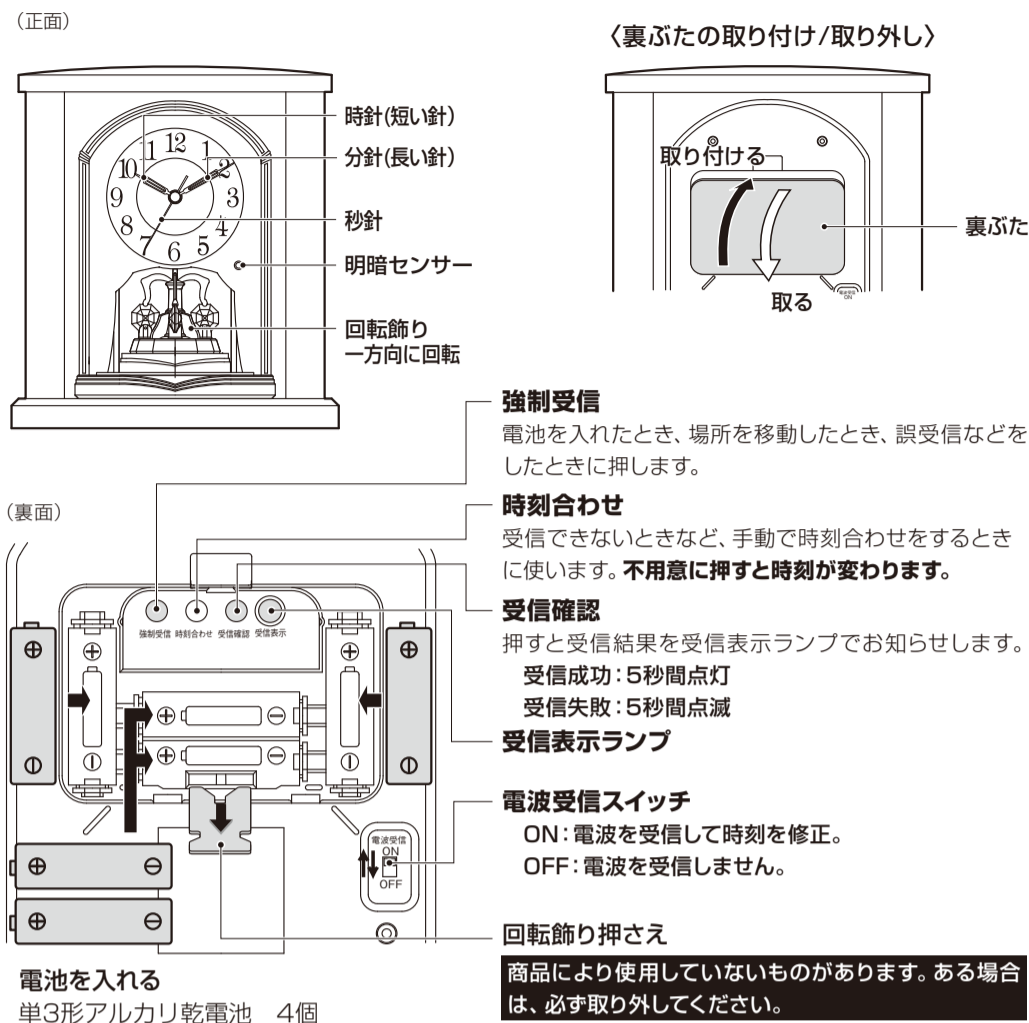
### 外観について

木や大理石などの天然素材を使用しているものは、木目や大理石の模様、色合いなどが商品ごとに異なることがあります。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

## 各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



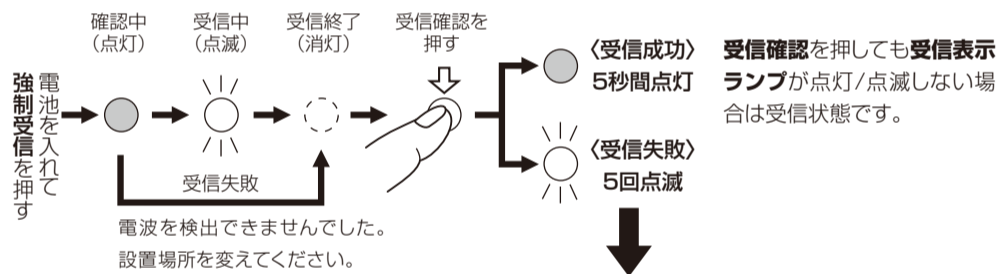
## 注意

電池の⊕⊖を指示と逆向きに入ると電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。

### 通常の針の動きについて

時計、分針：10秒に1回動きまます。  
秒針：1秒ステップ  
自動受信で時刻を修正するときに、早送りで動いたり、停止したりすることがあります。

## 受信の流れと受信表示ランプの見かた



## 標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく  
一般的に夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻を合わせて一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。1~2日後に受信結果を確認してください。
- 場所を変える  
電波の受信しやすい窓ぎわなどで、取扱説明書の日本地図を参考にして時計の正面または裏面を電波の送信所に向くようにして強制受信を押してください。
- 時刻を合わせて使用する  
ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせてからご使用ください。電波を受信できないときの時間精度はクォーツ精度になります。

## 手動での時刻合わせ……電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

※時刻合わせを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信スイッチがONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

- 操作**
- 時刻合わせを押してすぐに離すと1分進みます。
  - 時刻合わせを押し続けると早送りで動きます。時刻合わせを押し続けると秒針は12時位置に停止します。

秒は時刻合わせを離れたときにゼロ秒に設定されます。秒針が12時位置に止まっていなときは、早送りで現在時刻の秒位置まで移動します。

## 電波受信機能のON/OFF切り替え操作

任意の時刻に設定してお使いになるときや誤受信しやすいところでご使用になるときは、電波受信スイッチで電波受信機能をOFFにすることができます。

- ON：定期的に標準電波を受信。受信に成功すると時刻を修正する。
- OFF：電波を受信しません。時刻の遅れ進みは、手動で修正してください。
- 電波受信スイッチをOFFにして強制受信を押すと、ONのときと同様な状態になりますが受信をしません。必要に応じて手動で時刻を合わせてください。
- 電波受信スイッチをONにしたときには、必ず強制受信を押してください。
- 受信に成功した状態で電波受信スイッチをOFFにしても、受信表示ランプは最長で24~25時間点滅することがあります。

## ご使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ**を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

- 1 裏ぶたを取り外す
- 2 電波受信スイッチをONにする
- 3 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単3形アルカリ乾電池を入れる

### 4 強制受信を押す **受信の流れと受信表示ランプの見かた** 参照

受信表示ランプが点灯して受信を開始します。  
※針は受信が終わるまで停止しています。  
※電池を入れた後は、必ず強制受信を押してください。  
※受信中はボタンを押さないでください。

### 5 回転飾り押さえを取る

### 6 受信開始から15分後に受信結果を確認する

受信が終わると針が早送りで移動して時刻を示します。  
受信確認を押して受信表示ランプで受信結果を確認する。  
5秒間点灯：受信成功 (正しい時刻)  
5回点滅：受信失敗 (不正確な時刻) → **標準電波を受信できない場合**へ  
○受信は最長で15分程度行きます。  
○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて強制受信を押してください。  
○受信表示ランプは、24時間以内の受信結果を表示します。

### 7 裏ぶたを取り付ける

## 設置について

時計の転倒や落下による時計や家具などの破損やけがを防ぐために、水平で振動の少ない安定したところに設置してください。傾いたところに置くと、回転飾りが止まったり、滑らかに回転しなくなることがあります。大理石を使用しているものは、重量がありますので、お取り扱いにはご注意ください。

## 明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合は、受信表示ランプが消灯して秒針が12時位置に停止します。昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

## 電池の交換時期お知らせ機能 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池の交換時期になると明るいところでも秒針が12時位置で停止します。このような状態になりましたらお早めにすべての電池を新品に交換してください。  
※時計と分針はこのような状態になってから1か月程度動きます。

## 注意 電池の液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕などに費用が発生することがあります。

- 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをご守りください。
- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
  - 時計が動いていても2年に1回定期的に交換する。
  - 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜない。



## 静電気の影響について

静電気により正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、強制受信を押してください。

## おもな製品仕様

時間精度	受信成功直後の表示精度	秒針 ±1秒	時計/分針 目盛りに対して±3度
	標準電波を受信しない場合	平均月差 ±20秒	温度が5~35℃のときのクォーツ精度
使用温度範囲	-10 ~ 50℃ *結露しないこと		
使用電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格LR6 1.5V 4個		
電池寿命	約2年 標準電波を受信し、明暗センサーにより1日当たり8時間秒針が停止		
標準電波機能	標準電波を受信して時刻を修正		
受信局	福島局/九州局自動選択		
受信回数	最少1回/日、最多12回/日		
受信ON/OFF	スライドスイッチ		
暗所秒針停止機能	明暗センサーと連動、暗くなると秒針を停止		
電池の交換時期お知らせ機能	秒針が12時位置に常時停止		
回転飾り	一方向回転 装飾用		
防塵防滴	なし		

自動受信による時刻修正回数は、最少1日1回から最多1日12回まで受信状況により変化します。

- ▶ 受信成功から72時間以内の場合 ……………1~3回/日 開始時刻 2:16:40、3:16:40、4:16:40
  - ▶ 連続72時間以上受信に失敗している場合
  - ▶ 初めから受信に失敗している場合
  - ▶ 手動で時刻合わせをした場合
- 12回/日 開始時刻 奇数時の16分40秒

●製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品 お試用電池 4個、取扱説明書 本書、保証書 1枚